

公益社団法人愛知県医師会 第10回(定例)理事会議事録

開催日時：令和元年6月27日(木) 午後2時30分～午後4時15分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／城 義 政 市川朝洋 杉田洋一

理事／伊藤健一 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 檜尾富二

樋口俊寛 瀨瀨雅明 細川秀一 野田正治 林 義久

浅井清和 田那村 收 小出詠子 渡邊源市

監事／川上雅正 野口良樹 横井 隆

代議員会議長／服部 達哉

代議員会副議長／伊藤宣夫 山本 楯

欠席者

理事／湯澤由紀夫

議事録作成者 加藤結花

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①腎疾患における腎機能低下抑制のための最適制御法検出に関する研究会・(一社)全国腎臓病協議会・(一社)愛知県腎臓病協議会主催の第26回腎不全対策キャンペーン講演会〔8/25(日)〕の後援について

②独立行政法人労働者健康安全機構愛知産業保健総合支援センター(所長 西山 朗)主催の日医認定産業医研修会の共催について

③一般社団法人愛知医科大学医師会(会長 藤原祥裕)・愛知医科大学産業保健科学センター主催の愛知医科大学産業保健科学センター・産業医研修会〔10/19(土)〕の共催について

榎尾理事より説明され、上記1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1～9の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。野田理事より、No.2については、3年間の時限事業を終え、今年度から行う後継事業として最初の会議となると説明された。細川理事より、No.4については、初開催の勉強会となり、本会が全国に先駆けて実施している「チャイルド・デス・レビュー」を主として、今後も広く知らしめていくと説明された。加藤理事より、No.9については、これまでの講習会欠席者167名を対象とし、今年度最後の講習会となると説明された。

*は共催・協賛等

| No. | 開催日 | 名称 | 開催場所 | 担当理事 |
|-----|---|---|---------------------------------|---------------|
| 1 | 7/25(木) | 認知症地域医療研修事業 認知症対応病院実地指導事前説明会 | 803～804 会議室 | 野田理事 林理事 |
| 2 | 7/29(月) | 第1回在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議 | 9階大講堂 | 野田理事 林理事 |
| 3 | *8/17(土) *8/22(木) *8/31(土) *9/7(土) | 日本医師会生涯教育講座 | 9階大講堂 地下健康教育講堂 9階大講堂 〃 | 田那村理事 浅井理事 |
| 4 | 8/24(土) | 警察関係業務に関する勉強会 | JR ゲートタワー カンファレンス | 細川理事 瀬瀬理事 |
| 5 | 8/26(月) | 令和元年度第1回難治性疾患委員会 | 803～804 会議室 | 樋口理事 渡邊理事 |
| 6 | 9/8(日) R2. 2/9(日) | 令和元年度難病指定医・協力難病指定医研修 | 801～804 会議室 ウインクあいち | 樋口理事 渡邊理事 |
| 7 | 9/14(土) | 令和元年度愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会(第1回) | 中区役所ホール | 樋口理事 渡邊理事 |
| 8 | 9/24(火) | 令和元年度第2回小児救急連携体制協議会 | 804 会議室 | 細川理事 瀬瀬理事 |
| 9 | 10/3(木) | 社保集団指導講習会並びに医療安全説明会(欠席者対象) | 9階大講堂 | 加藤理事 大輪理事 |

3. 委員会委員の委嘱について

(1) 勤務医部会幹事の追加について

伊藤理事より説明され、成瀬友彦先生の追加が承認された。

(2) 地域医療介護委員会委員の変更について

野田理事より説明され、愛知県薬剤師会の小林伸一委員から丹羽松弘委員への変更が承認された。

4. 地域総合功労に係る都道府県知事推薦について

樫尾理事より説明され、大原憲一先生(73歳・岡崎市医師会)を推薦することが承認された。

5. 臓器移植対策推進功労者に対する厚生労働大臣感謝状贈呈候補者の推薦について

樫尾理事より説明され、個人として長坂隆治先生、団体として名古屋掖済会病院を推薦することが承認された。

6. 令和元年7月1日付け職員採用について

樫尾理事より、職員1名を医療業務部第2課に採用すると説明され、承認された。

7. 愛知県医師会警察部会規程の改正について

細川理事より、愛知県警察医会が解散されたことに伴い、「警察医会との連携に関する事項」を削除すると説明され、規程を改正することが承認された。

8. インフルエンザ予防接種補助事業に関する契約及び業務委託契約について

細川理事より説明され、「インフルエンザ予防接種補助事業に関する契約」を本会と健康保険組合連合会愛知連合会にて契約すること、及び「インフルエンザ予防接種補助事業に関する業務委託契約」を本会とNPO法人健康情報処理センターあいちにて契約することがそれぞれ承認された。

9. 認知症対応病院実地指導に係る指導病院への協力費について

野田理事より説明され、病院での認知症受入れを促進することを目的に実施している当事業について、指導病院である津島市民病院、済衆館病院、国立長寿医療研究センター、岡崎市民病院、名鉄病院に対し、報酬として資料の額を一括払いすることが承認された。

10. 認知症サポート医養成研修の受講者推薦について

野田理事より説明され、標記研修の推薦者(公費負担分)として資料の10名を推薦することが承認された。65歳以上人口1万人あたりのサポート医数に対し、申込みをした医療機関の中からサポート医の少ない地区を優先に選出し、今回、幸田町の医

師も対象となったことにより、県内では残すところ豊山町のみとなったと補足された。

—協議事項—

1 1. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会〔6/18(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会について報告された。1. については、主に自由開業制の制限について検討し、中央で議論が成熟するまでは、日医として強制的な措置を取らないというスタンスであると説明された。2. については、来年4月に診療報酬改定があるが、薬価財源については財務省と日医では見解の相違があり対立している。今後も日医の立場を最後まで貫き通していくと説明された。3. については、ユーザーに対してメンテナンス料金が無料と謳っていたが、財政難のため有料化(年間4~5万円)することとなったと説明された。

2. 中部医師会連合第2回常任委員会懇談会〔6/22(土)〕について

(中部医師会連合主催：広東名菜「赤坂璃宮」銀座店)

柵木会長より、本県が中部医師会連合の主務県として開催する最後の会となり、慰労を兼ね、懇親を深めたと報告された。

3. 第145回日本医師会定例代議員会〔6/23(日)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、大半の役員が出席され、既に周知のことであるので割愛すると発言された。また、会議のあり方について質問され、関連質問が多いとの意見が挙がり、賛否両論であった。

4. 日本医師会広報委員会〔6/20(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

杉田副会長より、「赤ひげ大賞」推薦要領について、各県医師会推薦枠を「1名以上2名以内」から、「1名」に変更したと報告された。また、「いい医療の日」ロゴマークについては現在200件ほど応募があり、内20件ほどを事務局で厳選した上、委員会で決定すると説明された。

【本会関係会議について】

5. 調査室委員会〔6/25(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドラインと医師確保計画策定ガイドライン、愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会〔6/5(水)〕、日本医師会医業税制検討委員会〔6/14(金)〕、財政制度等審議会 財政制度分科会〔6/19(水)〕、第145回日本医師会定例代議員会〔6/23(日)〕について、解説、議論を行ったと報告された。

6. 令和元年度第1回小児救急連携体制協議会〔6/18(火)〕について

(804会議室)

細川理事より、小児救急に関する研修会、小学生のための救急蘇生法講習の開催日程及び小児時間外救急の実態調査、愛知県における重症小児患者の診療実態に関する調査について調整を行ったと報告された。「小児救急に関する研修会」は既に1回終了しており、今後、名古屋と三河で開催予定である。「こどもの命を守るために事故防止と乳幼児心肺蘇生セミナー」の開催は見合わせる事となった。また、「小学生のための救急蘇生法講習会」に名古屋市が新たに参加したと補足された。

7. 認知症地域医療研修検討委員会〔6/17(月)〕について

(501会議室)

野田理事より、認知症対応病院実地指導に係る協力病院を選定し、指導病院の調整を行ったと報告された。また、認知症サポート医フォローアップ研修及び認知症疾患医療センター地域連携担当者向け研修会の研修内容と、認知症疾患医療センター事業評価会議の委員構成の検討を行った。認知症サポート医養成研修の公費負担対象者として、65歳以上人口1万人あたりのサポート医数が少ない市町村からの申込者10名を選出し、推薦することとなったと説明された。

8. 愛知県広域予防接種事業運営委員会〔6/17(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

浅井理事より、広域予防接種委託料請求における年度末の対応について弁護士からの見解を基に議論し、医師会としては年度末に請求遅れが無いよう周知徹底することとしたと報告された。また、愛知県広域予防接種事業市町ワーキングの報告として、愛知県より、消費税率改正に伴う委託料金への適用は接種日とすることが報告され、会の最後に県外の定期予防接種対象者に対するアンケート調査の結果報告を行ったと説明された。このアンケートは、小児科医会との連名で里帰り出産時の広域化について周知されているか否かを調査したもので、対応していない市町も1ヶ所あり、ホームページ等で県民への周知徹底を推進するよう市町村にフィードバックするとの結論に至ったと報告された。

9. 医療安全対策委員会〔6/18(火)〕について

(801～803 会議室)

渡邊理事より、令和元年6月分委員会提出案件、21件(新規15件、解決6件)について検討したと報告された。

10. 講演会・研修会等について

柵木会長より、本会主催の研修会は資料により報告とすると発言された。

| No. | 開催日 | 名称 | 出席者数等 | 担当理事 |
|-----|---------|--------|-------|--------------|
| 1 | 6/19(水) | 産業医研修会 | 128名 | 西山理事 樫尾理事 |

【行政、その他関係団体等会議について】

1 1. 愛知県防災会議〔6/4(火)〕について

(愛知県防災会議(愛知県)主催：名古屋銀行協会)

杉田副会長より、地域防災計画の修正(案)、水防計画(案)などについて検討を行ったと報告され、西日本豪雨による被害を猛省し、住民に避難のタイミングを促すことを目的に、大雨防災情報の5段階区分の運用を開始したと説明された。また、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応について」「災害時における外国人への支援の課題について」と題し、講演が行われたと説明された。

1 2. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち令和元年度第1回運営委員会・第37回理事会・第15回総会〔6/12(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：801・802 会議室)

細川理事より、運営委員会では、「血压手帳」作成についての協議、「インフルエンザ予防接種事業」、当法人役員の叙勲受章者、令和元年度「インフルエンザ予防接種事業」の調印式実施についての報告を行ったと説明された。理事会では、総会に提出する議案の審議を行い、承認された。総会では、平成30年度事業報告、平成30年度収支計算書、令和元年度事業計画書(案)、令和元年度予算書(案)の4議案について審議を行い、承認されたと報告された。

1 3. 愛知県社会福祉協議会第2回理事会〔6/18(火)〕について

(愛知県社会福祉協議会主催：愛知県社会福祉会館)

林理事より、第1号議案で、会長・副会長・専務理事の選定がなされ、他に、定款変更や名誉会長・顧問の委嘱等について議論されたと報告された。

【病診連携・地域医療支援病院関係会議について】

1 4. 地域医療支援病院実績報告(平成30年度第4四半期)について

大輪理事より、地域医療支援病院の委員会へ参加している25病院について実績報

告がなされた。名古屋市の地域支援病院については、前年度と比較し外来、入院患者数共に概ね減少している。1月～3月の繁忙期であるが、インフルエンザの流行状況が一因であると説明された。また、救急患者数は増加していると補足された。

【その他事項について】

15. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

令和元年6月27日